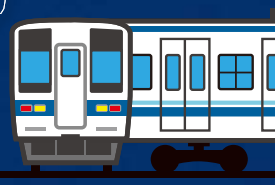
鉄道で行く千葉



第14回 東武野田線 その❶ Tobu Noda Line Part:1

スイッチバック駅としても知られている柏駅を大宮駅方面に向け出発する東武8000系車両（真ん中の車両／柏駅）
※柏駅ではすべての電車が、こちらの向きで出発します。

Tobu Noda Line Part:1

東武野田線は、船橋市の船橋駅から、柏市の柏駅を経て埼玉県さいたま市の大宮駅に至る路線です。今回ご紹介するのは、柏駅から、埼玉県との県境にある川間駅までの約20kmの区間。

朝晩は、つくばエクスプレスやJR常磐線への乗り換え、船橋方面、大宮方面へ向かう通勤通学の乗降客が多いのもこの路線の特徴です。

夕暮れ時の利根運河を渡り、柏方面に向かって走る8000系車両。(梅郷駅～運河駅間)

history

◆東武野田線の歴史

◎1911年(明治44年)5月9日
千葉県営軽便鉄道野田線 柏駅～野田町駅(現・野田市駅)間開業。
◎1923年(大正12年)8月1日
千葉県営軽便鉄道野田線を北総鉄道に譲渡。
◎1923年(大正12年)12月27日
北総鉄道船橋線 船橋駅～柏駅間開業。
◎1929年(昭和4年)9月1日
野田町駅～清水公園駅間を開業。
◎1929年(昭和4年)11月17日
粕壁駅(現・春日部駅)～大宮駅(仮駅)間を開業。
◎1929年(昭和4年)11月22日
北総鉄道が総武鉄道に改称。
◎1930年(昭和5年)10月1日
清水公園駅～粕壁駅(現・春日部駅)間開業。
◎1944年(昭和19年)3月1日
陸上交通事業調整法に基づき、東武鉄道が総武鉄道を吸収合併。
◎1948年(昭和23年)4月16日
野田線と船橋線の全線(大宮駅～船橋駅間)が野田線と改称。
◎1984年(昭和59年)
貨物列車廃止。
◎2005年(平成17年)8月24日
豊四季駅～初石駅間に流山おおたかの森駅開業。

東武野田線は、1911年(明治44年)から千葉県営軽便鉄道野田線として開業していた柏駅から野田町駅(現在の野田市駅)間を、北総鉄道(現在の北総鉄道(株)とは別)が、1923年(大正12年)に県から払い下げる形で、北総鉄道野田線として営業を開始しました。また、同年12月に北総鉄道船橋線として船橋駅から柏駅間も開業しました。

もともとこの路線は、野田町駅から柏駅まで醤油を運ぶ貨物輸送のために建設されたもので、かつては野田町(現在の野田市)にあるキッコーマン本社内に運搬用の駅が存在し、そこから日本全国に醤油が輸送されていました。

1929年(昭和4年)には野田町駅から清水公園駅間が開業し、さらに、同年に粕壁駅(現在の春日部駅)から大宮駅(仮駅)間が開通し、同時に社名を総武鉄道(総武本線を開業させた総武鉄道とは無関係)に改称しました。その後1930年(昭和5年)には清水公園駅から粕壁駅間も開通し全線が整うと、1944年(昭和19年)に東武鉄道に合併され、現在の形となりました。

東武鉄道になってからも、大宮駅から柏駅間が「東武野田線」、柏駅から船橋駅間が「東武船橋線」と呼ばれていましたが、1948年(昭和23年)に大宮駅から船橋駅間の全線が「東武野田線」と改称されました。

現在活躍中の東武野田線の車両

8000系 中期更新車 1987年～1996年

初期更新が行われた翌年の1987年からは、前面にスカート(障害を排除する機器)が設置されたり、角形ライトに変更されたりと10年間にわたり細部までの大幅な改造が繰り返され、より現代的なスタイルになりました。

8000系 後期更新車 1997年～2008年

1997年より、更にリニューアルがスタート。基本的なデザインは変わりませんが、前照灯がより明るいものになったり、ライトボックスの素材変更・行先表示装置のLED化や車椅子スペースの新設等が追加されました。

「野田市駅」の駅名の由来

野田市駅は、1911年(明治44年)野田醤油醸造組合協力のもと千葉県営軽便鉄道の「野田町駅」として開業したのが始まりです。「野田駅」ではなく「野田町駅」となったのは、開業当時、国鉄房総線(現在のJR外房線)に「野田駅」(現在の誉田駅)が存在していたので、混乱を防ぐための措置でした。その後、1950年(昭和25年)の市政に伴い「野田市駅」に改称されました。

野田町駅(昭和10年頃)

現在の野田市駅

昭和4年に建てられた(上:写真)建物を昭和61年に改築したものです。
※骨組みを残し、全面的に室内を改装。

★東武野田線鉄道グッズ

駅舎内では、鉄道ファンが喜ぶ東武野田線のオリジナルグッズを販売しています。

●東武8000系携帯ストラップ 750円(税込)

●野田市駅名キーホルダー 500円(税込)

車窓からの風景

スペシャルビューポイント

どこまでも続く利根運河!

運河駅を川間駅方面に出発してすぐ、大きな橋に差し掛かります。線路とほぼ直角に流れる川が見えますが、これは利根川と江戸川をつなぐ一級河川、利根運河です。緑豊かで多くの自然を残した岸辺が遠くまで続き、散策を楽しむ人や、釣りを楽しむ人の姿も見ることができます。

駅前広場から見上げると、つくばエクスプレスの車両を見ることができます。

流山おおたかの森駅、上りホームからは、大きなショッピングセンター「流山おおたかの森S・C」が間近に見えます。東武野田線の駅舎とクロスして、つくばエクスプレスが走っています。

東武野田線に乗って。

東武野田線の車窓には、新旧の建物が入り混じった住宅地を中心に、畑・水田・林の風景が交互に広がります。今も沿線では開発が盛んに行われており、時折ぽっかりと広がる土地に、宅地の造成工事が進められている様子も見られます。また新しい道路や駅舎、ショッピングセンターなども目立ち、これからまだまだ、沿線の様子が変化していくことが伺えます。

柏駅を出てしばらくすると、右側に見える、赤と白の、まるでロケットのようなタワー。NTT東日本 豊四季電話交換センター(豊四季局)の施設です。

愛宕駅から清水公園駅間の右側の車窓からは、宅地造成工事が進むなか、広い緑地やきれいに整備された公園などが見えます。

初石駅を出てしばらく走ると、線路のすぐ脇の右側に大きなゴルフ練習場があります。

運河駅を出てすぐ右側。利根運河にかかる橋の上から、東京理科大学の野田キャンパスが見えます。

七光台駅を出てすぐ、左側にある車両基地。いつ見ても数台の8000系車両が洗車や車両点検のために、待機しています。

Ⓕ野田市駅に差し掛かる駅の手前、左には大きなキッコーマン野田工場が見えます。Ⓖ野田市駅から愛宕駅まではわずか約900m。ほとんどスピードを上げない列車の右側の車窓からは、キッコーマンの工場の高い煙突が見えます。

東武野田線で発見したお手軽グルメ&お土産!

野田市駅

もの知りしょうゆ館 まめカフェ

(野田市駅近く、キッコーマン野田工場内)

●生しょうゆうどん
¥150(税込)

キッコーマン野田工場の中にある「まめカフェ」で食べられる「生しょうゆうどん」。「生しょうゆ」の鮮度と旨味、再仕込み醤油の濃厚な深い味わいが楽しめます。

川間駅

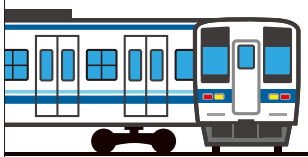
つるやせんべい

(川間駅徒歩3分、南口大通り)

●手焼せんべい 川間焼
1枚 ¥58(税込)

一枚一枚ていねいに焼き上げた手焼せんべいで、特別にブレンドされた香ばしいお醤油の風味を味わうことができます。川間焼は、数あるおせんべいの中でもっともベーシックなタイプゆえ、土地の名前が付けられました。

東武野田線の、家族で出かけられる遊び場情報



鉄道で出かけよう！

車窓からの風景や道草を思い切り楽しんだら、今度は本格的に遊べる場所を訪ねてみましょう。電車を使えばすぐに出かけられ、家族で思い切り楽しめるポイントをご紹介します。

キッコーマン「もの知りしょうゆ館」

キッコーマンの野田工場内にある施設です。醤油の製造工程を映像や展示で見ることができます。もろみの熟成の様子や醤油の色・味・香りなども体感でき、醤油の醸造について楽しく理解することができます。自由見学も可能ですが、ガイド付きの見学コース(要予約)では女性スタッフが案内に付いてくれるので、いろいろな質問も可能。見学ツアーが終わるとお土産に醤油をいただけます。

また、施設内の「まめカフェ」では、グルメのコーナーでもご紹介した「生しょうゆうどん」のほか、醤油の味比べ(無料)や、醤油を使ったソフトクリーム、もろみを使った豚汁(いずれも有料)など、工場ならではのメニューを楽しむことができます。

▲キッコーマン野田工場(外観)

▲見学コース(しょうゆ比較)

▲まめカフェ(しょうゆソフトクリーム)

▲まめカフェ(せんべい焼き体験)

▲見学コース(もろみ比較)

●開館時間／午前9時～午後4時
●休館日／毎月第4月曜日 午後、ゴールデンウィーク、旧盆、年末年始
(詳しくは、お問い合わせください)
●見学案内／開始時間 9時、10時、11時、13時、14時、15時
(要予約)
●料　金／無料(工場見学)
●交　通／「野田市駅」より徒歩約3分
●駐車場／工場内の御用蔵移築工事にともない10月18日～12月18日の期間中、駐車場のご利用ができない場合があります。ご来館の際は、公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。
●問い合わせ・予約／ 04-7123-5136
●住　所／〒278-0037 野田市野田110
キッコーマン食品野田工場内
●公式サイト(http://www.kikkoman.co.jp/enjoys/factory/noda.html)

清　水　公　園

野田市にある自然公園。1894年(明治27年)、茂木柏衛翁(キッコーマンの創設者茂木一族の1人)が建設した庭園を町の人々に開放した民営の公園です。園内にはソメイヨシノを始め、およそ二千本の桜が咲き乱れ(「さくら名所100選」に選定されています)、お花見のシーズンにはたくさんの人で賑わいます。また、つつじも2万株植えられ、ゴールデンウイークの見ごろには、これを目当てにした多くの来園者で賑わいます。

園内は、無料で自由に歩きまわれ、桜などが楽しめるエリアのほか、フィールドアスレチックやキャンプ場、ポニー牧場やアクアベンチャー(噴水の迷路など)など有料の施設も充実。1日ではとてもまわり切れないほど多くの楽しみが用意されています。

▲シダレザクラ

▲ツツジ

▲仁王門

▲劫初(ごうしょ)の桜

▲慈光山金乗院

●営業日／常時開放。ただし各アトラクションは入場時間の制限があります。
●料　金／無料(各アトラクションは有料)
●交　通／「清水公園駅」より徒歩約10分
●駐車場／あり 800台(普通車1日700円/春季1日800円)
※季節により値段が変わることがあります。
※3月下旬～5月下旬、お祭期間内は大変混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。
●問い合わせ／ 04-7125-3030
●住　所／〒278-0043 野田市清水906番地
●公式サイト(http://www.shimizu-kouen.com/)

駅前発見！探してみよう！

清水公園駅前のカワイイ石像！

清水公園駅の改札を出て左。清水公園方面の地上に出ると、目の前に緩やかな昇り坂。その入り口に、女の子をモチーフにしたカワイイ石像があります。この石像には、お馴染みの「かごめかごめ～」の歌が刻まれています。「かごめかごめ～」の歌詞は、ここ野田市地方のものが全国へと伝わり現在に至りました。野田市が発祥地といわれることから、「かごめの唄の碑」がここに建立されました。

調べてみよう！東武野田線クイズ？

川間駅南口大通りのお店で売っている美味しいお菓子の名前は？

1. 川間サブレ
2. 手焼せんべい 川間焼
3. 川間最中

※正解は次号紙面で！

※前回のクイズの正解。京成千原線、千葉寺駅近くの洋菓子店「パティスリー・ルミエール」で、木の葉がモチーフのお菓子の名前は、**「3」青葉の森のリーフパイ**でした。

写真提供・撮影協力／野田市郷土博物館　㈱千秋社　キッコーマン株式会社　つるやせんべい

※本誌ファイルに記載されております、目次No.14東武野田線(第1回)川間駅～豊四季駅を取材等の都合により、川間駅～柏駅間に変更させていただきました。

2010.11(次回発行／ 2010年12月24日)

京葉銀行 BANK

ミックス品 FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです www.fsc.org Cert no. SGS-COC-001466 © 1996 Forest Stewardship Council

VEGETABLE OIL INK この冊子の印刷には、環境に配慮した植物性インキを使用しています。